

令和7年生駒市教育委員会第6回定例会会議録

1 日 時 令和7年6月17日(火) 午前9時30分～午前11時18分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第10号 臨時代理につき承認を求めることについて(令和7年生駒市議会第4回(6月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 報告第11号 生駒市スポーツ施設整備等に伴う調査業務の結果について
- (3) 議案第18号 令和7年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について
- (4) 議案第19号 生駒市社会教育委員の委嘱について
- (5) 議案第20号 生駒市総合公園体育施設リニューアル事業基本構想の策定について
- (6) 議案第21号 生駒市教育委員会事務局職員等の任免について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	レイノルズあい
委 員	中 川 義 三	委 員	吉 尾 典 子

5 事務局職員出席者

教育部長	松 田 悟	生涯学習部長	坂 谷 操
教育部次長	南 口 嘉 子	教育総務課長	山 本 英 樹
幼保こども園課長兼務		学校給食センター所長	山 本 芳 和
教育指導課長	花 山 浩 一	幼保こども園課指導主事	牧 野 由 美
幼保こども園課指導主事	長 崎 文	児童総務課長	石 田 昌 代
生涯学習課長	甫 田 和佳子	図書館館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	松 田 美奈子
教育指導課課長補佐	中 田 博 久	教育政策室長	杉 山 史 哲
こども園準備室長	澤 辺 誠	図書館南分館長	中 川 公 子
図書館北分館長	谷 江 真美子	生駒駅前図書室長	入 井 知 子
教育総務課(書記)	土 井 智 史	教育総務課(書記)	寺 川 寧 々

6 傍聴者1名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

○日程第3 報告第10号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和7年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の意見について）

・令和7年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の意見について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1～3>

（質疑）

レイノルズ委員：その1とその2に含まれていない生駒北小学校はどのような状況であるのか。

山本課長：生駒北小学校は生駒北中学校と同じ体育館を使う。北中学校は既に工事が入っているため省いている。

レイノルズ委員：10校分の完成の目途について教えていただきたい。

山本課長：年内に着工し、1月から2月に試運転をして終了となる予定である。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第11号 生駒市スポーツ施設整備等に伴う調査業務の結果について
・生駒市スポーツ施設整備等に伴う調査業務の結果について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：議案書p4～5、資料1>

（質疑）

飯島委員：Dとされているものについて、早急に対応を検討しなければならない点があるのか。

西課長：今回の調査報告で具体的な箇所が分かったので詳細調査をする。

飯島委員：Cの「広範囲に劣化」においても劣化箇所の早急な対応が必要なのか。

西課長：Cについては早期というわけではないので安全を確認しながら利用いただく。

飯島委員：施工時の問題によって想定以上に劣化が進んでいるといった案件はあるか。

西課長：この調査において、施工時の問題までは分からない。現時点での確認結果である。

飯島委員：想定よりも劣化が進んでいた結果はあったか。

西課長：総合公園の体育館のクラックは想定以上の劣化状況であった。

レイノルズ委員：井出山の温水プールは供用開始から約15年だが、既にD評価というのは劣化が激しいと感じる。今後、屋内プールの新設を検討するにあたり、この劣化速度は当初の想定に含まれていたのかを確認したい。

西 課 長：温水プールは湿気や塩素の影響で他のスポーツ施設よりは劣化が早いと聞いている。立地によるが、詳細調査をし、対応策を検討する。

吉 尾 委 員：築年数に関する資料を確認すると、施設によって使用期間に大きなばらつきが見受けられる。今後の長期的な施設運営を見据えた場合、改修を行うのか、それとも建て替えを実施するのかについて、早急な検討と計画が求められる。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 議案第18号

・令和7年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について、松田教育部長から説明
<参照：議案書p5～6、別冊1>

(質疑)

吉 尾 委 員：令和6年度の活動評価よりも見やすく、表記の工夫も見受けられる。評価は実施内容に対する分析であり、仮に良好な成果が得られた場合でも、PDCAサイクルの観点から次の展開につながる検証が求められる。課題がある場合についても、同様に改善に向けた分析が必要である。評価指標には、参加人数などの定量的な数値で評価可能な目標がある一方、目標が割合で設定されている場合もある。加えて、学校教育においては数値化が困難な目標も存在する。13ページに記載されたキャリア教育推進事業に関しては、「S評価」が付されているが、記述内容では「個別最適な学びのカリキュラム化」や「評価方法の精緻化」が課題とされている。S評価に見合う記述とするためにも、今後さらに高い効果を目指した発展的な方向性を示す表現に改めることが望ましい。また、16ページのサイエンス探求教室については、目標参加者数135人に対して実際の参加者数が50人であったが、この点のみをもって評価が下がるものとは捉えていない。学びの多様化という意味では、たとえ内容が高度であっても、探究的かつ深い学びが確保されているのであれば、より広い対象の事業であっても良いのではないかと。むしろ、年齢制限を設けず、より高度な学びを提供する取組へと転換することで、主体的、探究的な学びにつながると考える。

飯 島 委 員：吉尾委員に同感である。S評価7点、B評価7点、他はA評価であるが、BをどのようにAにするか。また、S評価をさらに洗練させるという方向性は好ましく、深めるだけでなく広げるという方向性も重要である。B評価の事業の中には、単年度で成果が可視化されにくいものもあり、特に意識改革を目的とした取組については、その成果が数値に現れるまでに時

間を要する。したがって、B評価を過度に否定的に捉えるのではなく、事業本来の目的である意識変容の促進に重点を置き、長期的な視点での取組を求めたい。生駒市においては、サポートルームや不登校支援などの分野で、丁寧な対応がなされてきたとの印象を受ける。校内サポートルーム事業がS評価を得た点についても、不登校支援の取組の成果として評価できるものであり、今後さらに支援体制の充実を図る必要がある。加えて、生駒市らしさを明確に打ち出し、他自治体の参考となるような施策提案を行うことにより、S評価の価値をさらに高めていくことが期待される。

花 山 課 長：令和元年度以降、小学校における不登校児童数は約3倍に、中学校では約1.5倍に増加している。こうした現状を踏まえ、生駒市の特色を生かした取組をさらに推進していく必要がある。現在、いきいきほっとルーム及びのびのびほっとルームの整備を進めるとともに、新たに校内サポートルームを実証事業として開始している。これらの施策は、主として子どもたちの「居場所」の確保に重点を置いたものである。今後は、こうした取組に加え、「学びの多様化学校」について検討する必要があると考えている。については、委員各位のご意見を賜りたい。

原井教育長：21ページに記載された「不登校支援推進」についてはA評価、「校内サポートルーム事業」についてはS評価が付されている。不登校の様態が多様化する中であって、本市としても「学びの多様化学校」について、今後の推進を検討しているところである。今後は、定例教育委員会の場においても、「学びの多様化学校」の必要性について議論を深めていく方針である。

中 川 委 員：14ページに記載された「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」については、学習指導要領においても重視されている事項であり、今後さらに推進されることを期待する。15ページの「教育・保育の質の向上」については、小学校の教育的な大規模改修計画、保育所の老朽化への対応、壱分幼稚園の認定こども園化の検討、さらには若年層への支援策の充実など、幅広い視点からの施策が講じられている。これらの取組を踏まえると、B評価とするのではなく、A評価でも良いのではないかと考える。54ページの「待機児童の解消に向けた取組」については、評価の根拠が数値的成果に基づく側面があると考えられるが、実際には多角的な取組が展開されている。47ページの「教頭の業務の再定義」を核とした学校の業務改善と教師の働き方改革施策については、現場の教職員の積極的な姿勢が不可欠である。また、「学びの多様化学校」に関しては、中学生が自身の力を発揮し、それが正当に評価されることにより、不登校の改善にも寄与することが期待される。単なる「居場所」の提供にとどまらず、次なる成長のステップとしての選択肢となるような取組を、今後一層推進していただきたい。

レイノルズ委員：事業の中には、課題解決に向けて着実に前進しているものがある一方で、単年度では改善状況を的確に見極めることが困難なものも存在する。評価指標の観点から見ると、４３ページに記載された「教職員のウェルビーイングを実現する働き方改革」においては、「月８０時間を超える時間外労働者数を５０人以下にする」ということが目標とされているが、４７ページの「「教頭の業務の再定義」を核とした学校の業務改善と教師の働き方改革施策」と同一の目標が掲げられている。時間外勤務者数といった定量的な数値をもってウェルビーイングの指標とすることが適切か否かについて、再考の余地がある。実際の学校現場における教職員の意識や実感に即した評価指標の在り方について検討するためにも、現場教職員へのヒアリングの実施状況等について、現状はどうか。

杉山室長：従業員満足度調査に類するものは現時点で実施していないが、組織変革プロセス指標を用いた学校組織診断の実施を今年度予定している。本診断は、教職員一人ひとりの満足度を測るものではなく、教職員間の関係性や職員室内におけるコミュニケーションの状況などを通じて、働きやすさや働きがいの程度を把握することを目的とするものである。今後、このような診断の結果を、教職員の働き方改革を進めるための一助としたいと考えている。

レイノルズ委員：それは新しい取組であるか。

杉山室長：今年度より新たに実施を予定しているものである。

レイノルズ委員：先生方の働き方改革については、これまでも業務の効率化に向けた取組が継続されているところであるが、今後についても、調査等を通じて実態を定期的に把握し、教職員の働き方を支援する施策の充実を図られたい。併せて、今後の取組を継続的に推進していくにあたり、働き方改革の目標設定についても再検討を行い、より実効性のある内容となるよう見直しを図っていただきたい。

原井教育長：メンタルヘルスに関する調査については、毎年個別に実施しており、その結果も活用しながら、教職員の超過勤務の実態を把握していきたいと考えている。

吉尾委員：１４ページの「「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指す授業改善のための伴走型研修の実施」において２０名の目標に対して９２名が参加しており、極めて意義深い取組である。教員が対話的・主体的な深い学びを自ら体現することにより、子どもたちに伝えられる取組になっている。今後、公開授業の機会があれば、ぜひ参加したいと考えている。なお、本研修における参加教員について、小学校・中学校のいずれの教員が多かったのか。

杉山室長：当該研修への参加者は、小学校教員が３３名、中学校教員が３名であり、小学校の教員が積極的に参加している状況である。一方で、中学校教員の

参加が少数にとどまっていることから、今後は中学校における参加の促進が課題となる。

吉 尾 委 員：教育大綱に掲げる目指すべき教育の実現に向けては、教職員のメンタルヘルスにも配慮しつつ、各種研修を通じた理解の深化を図っていただきたい。また、41ページに記載のある「手渡しする」という表現については、デジタル化が進展する現在においても、人と人が目と目を合わせて本を手渡すという行為が図書館の重要な意義の一つであると考えます。今後もこうした価値を大切にしていきたい。生駒南小・中学校の建て替えにあっても、図書館機能の在り方は大きな変革が求められる重要な視点である。さらに、41ページに記載された部活動の地域移行については、取組を進めていただいているところであるが、常に「子どもたちにとって意義があるか」という視点を忘れることなく、継続的に推進していただきたい。

原井教育長：伴走型研修は、3月に生駒南小学校において実施された。小中学校間での授業見学は今後の新しい学校作りに向けて先生方がともに学び合う機会として教育委員会の皆様にもぜひご参加いただきたい。また、図書館についても、地域の方々の居場所となるような図書館作りを目指していく。

甫 田 課 長：1点訂正だが、16ページの「サイエンス探求教室」について、仮称としていたが既に確定している。

花 山 課 長：36ページの放課後子ども教室の参加人数について、6189名の間違いであった。

審議結果 【継続審議】

○日程第6号 議案第19号

・生駒市社会教育委員の委嘱について、甫田生涯学習課長から説明

<参照：議案書p6、資料2>

(質疑)

なし

○日程第7号 議案第20号

・生駒市総合公園体育施設リニューアル事業基本構想の策定について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：議案書p7、別冊2>

(質疑)

飯 島 委 員：面積的には北地域も南地域も同じくらいのようなのだが、人口的にはどうか。

西 課 長：北地域は5万9千人、南地域は5万7千人でおおむね同程度である。

- 飯島委員：周辺の小・中学校のプールを廃止するという記述があるが、具体的に何校程度が想定されるのか。また、廃止された場合、小中学校のプールの防火用水も使えないということになるが、その点についての対応を伺いたい。
- 西課長：車等での移動時間を考慮し、今後対象とする学校の検討を進めたい。防火水槽の件については消防と調整しながら進めていきたい。
- レイノルズ委員：総合公園体育施設を中心に、ストリートバスケットやスケートボード等の新しい施設を検討しているということだが、深北緑地公園のような広い施設が整備されれば、市民が身体を動かす機会が増え、結果としてスポーツ人口の拡大にもつながると考える。今回の案では総合公園が対象となっているが市内全域のスポーツ施設の改修を進めていくという理解で良いか。
- 西課長：その通りである。
- レイノルズ委員：今後の新しい施設が現代の技術で長期にわたり安全かつ安定的に利用できるものと期待される。なお、本構想は6年後に予定されているイベントを見据えたものであるのか。
- 西課長：令和13年度に国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の奈良県大会が開催されるのに合わせ、今後6年間を見据えたスケジュールで策定を進めていきたい。また、市内スポーツ施設の集約化も同時に検討していく。
- 吉尾委員：当該スポーツ施設は、緑豊かな環境に立地していることから、単なる運動の場としてだけでなく、市民が気軽に集える交流の場や、ハイキング等の自然を活用した活動の拠点としての機能も視野に入れた整備を検討していただきたい。

審議結果【原案のとおり可決】

○その他

- ・生駒市立幼稚園再編に係る基本方針策定について、澤辺こども園室長から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

- レイノルズ委員：基本方針案作成は業務委託しているとのことだが、幼稚園の再編に関わる専門的な業者がいるのか。
- 澤辺室長：再編にあたっては、前提として人口動態の推移を把握する必要がある。生駒市の人口推計データを業者に提供し、対象となる園区における10年後の町別人口推移を分析することで、園児の母数を把握する。その上で、幼稚園および保育園のニーズを加味し、将来的にどの程度の児童が通園するかを見通すことが可能なコンサルティング会社に業務を委託する。
- 南口次長：市としては、コンサルティング会社の専門的知見を活用し、アンケート調査の実施も含めて、得られたデータに基づいた分析を行い、その結果を踏まえて教育委員会としての方針を決定していく手順を想定している。

吉 尾 委 員：保護者アンケートは幼稚園のみであるか。

澤 辺 室 長：現在検討中ではあるが、今後の調査においては、幼稚園および保育園に通う乳幼児の保護者の双方を対象とする予定である。昨年度、第3期子ども子育て支援事業計画に関わるニーズ調査が実施されており、教育・保育に関する希望について複数回答可の形式で尋ねたところ幼稚園の希望が40%台にのぼった。保育園の必要性は引き続き高いものの、一定のニーズが満たされるのであれば、幼稚園を選択肢とする保護者も一定数存在することが明らかとなった。今後も、こうした調査結果を注視しながら、施策の検討を進めていきたい。

吉 尾 委 員：0歳から5歳までの教育環境において保護者はどのような形を望んでいるのかが分かるアンケートにしていきたい。また、保育に携わっている職員や関係者に対するアンケートについてはどう考えているのか。

澤 辺 室 長：ヒアリングという形式により、対象園の教職員との意見交換の機会を設けたいと考えている。就学前教育に関わる重要な事項であることから、できる限り前向きな内容となるよう努めたい。

・リズム室開放の終了について、澤辺こども園準備室長から説明

<参照：その他資料2>

(質疑)

なし

・生駒市新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：その他資料3>

(質疑)

飯 島 委 員：令和8年度には、土曜日・日曜日の部活動が全面的に地域移行される予定であるが、現時点の進捗を確認したい。

西 課 長：現時点では、地域移行の取組は十分に進んでいない状況にあるが、今年度秋以降においては、いくつかの種目において実施を予定している。令和8年4月以降には全面的な地域移行が求められることから、令和8年1月より体験的な取組を開始する予定である。現在、専門の指導者との調整を進めている段階であり、現時点ではサッカーおよび水泳の2種目において準備が進んでいる。

飯 島 委 員：指導者不足により市内では移行できないという事案はないか。

西 課 長：先生方の意向を伺いながら、専門部の教員とも協議のうえ、実現可能な種目数について検討を進めている。併せて、地域移行に向けた指導者の登録作業についても、現在並行して進めているところである。

・令和7年7月行事予定について、山本教育総務課長、甫田生涯学習課長から説明
(質疑)

レイノルズ委員：7月18日の開催予定の「英語多読をはじめよう」について、対象者を伺
いたい。

西野図書館長：今回は夜間に実施することから、対象は高校生以上としている。なお、秋
には子育て世代の方々を対象に、お子さんが英語に親しむことを目的とし
た講座の開催を企画している。

○追加日程1 議案第21号 生駒市教育委員会事務局職員等の任免について

・生駒市教育委員会事務局職員等の任免について、松田教育部長から説明

<参照：議案書、追加資料1（非公開）>

≪ 個人情報を含むため、質疑内容は非公開 ≫

審議結果 【原案のとおり可決】

○閉会宣告

午前11時18分 閉会